

御 挨拶

中村歌右衛門

皆さま、本日はお暑い中をわざわざお越し下さいまして誠に有難う存じます。昨夏初めて催しました「葉月会」もお蔭をもちまして第二回を開くことになりました。これも偏に皆様方の暖いご支援によりますものと深く感謝いたしております。

「葉月会」はもともと中堅、若手俳優の日本舞踊の習得と、若い歌舞伎邦楽家(長唄・囃子・竹本)の人たちに研修発表の場を与えるために新しく作りました会でございます。幸いに好評を得まして、本人たちもたいへんいい勉強になりました。本年も続けて催してほしいという要望に応えまして開いたものでございますが、舞踊と邦楽では多少単調になりますのでお芝居も加えてほしいという声もありました。今回は「傾城阿波の鳴門」の「どんどう大師」の場を上演することになりました。今後もこの方針で企画を進めたいと存じますが、お芝居は一般の興行では見られない珍しいものを採り上げ、若い人たちに勉強させ後代に伝えたいと考えております。

しかし何れにしましても未熟者ぞろいでございますので、お目まだるい点が多くあると存じますが、何卒暖いご声援のほどをお願い申し上げます。なお国立劇場の皆さんには公私にわたり多くのご協力をいただきましたことをこの機会に厚くお礼申し上げます。

(伝統歌舞伎保存会会長)

昭和五十八年八月

出演者

長唄
芳村 伊十佐久
杵屋 長一郎
松島 庄吾
鳥羽屋 里一郎
三味線
杵屋 榮津三郎
杵屋 榮四郎
松島 庄六郎
杵屋 藤太郎
鳴物
田中 伝兵衛
堅田 喜代蔵
福原 鶴二郎
田中 勘四郎
田中 伝次郎
田中 長九郎
田中 欽也
望月 太喜治

一 団子売

演奏

竹本連中

二 京鹿子娘道成寺

演奏

長唄囃子連中

三 傾城阿波の鳴門

どんどう大師の場

一幕

中村梅花 指導
近松門左衛門 作
お弓 加賀屋 歌江
おつる 沢村 宗丸
妙林 市川 左升
妙珍 実川 延寿
茶店娘 中村 京之助
参詣人
郡司 健
後藤 明夫
後藤 順一
島田 和彦
堤田 千里
藤田 明広
若生 稔
浄瑠璃 竹本 葵太夫
三味線 鶴沢 政一郎

四 供奴

坂東三津五郎 振付

長唄囃子連中

奴 坂東 みの虫

五 釣女

河竹黙阿弥 作
藤間勘十郎 振付

常磐津連中

太郎冠者 松本 幸右衛門
大名 松本 幸雀
姫御寮 中村 京之助
醜女 加賀屋 歌江

竹本 泉太夫
竹本 初太夫
竹本 谷太夫
竹本 幹太夫
鶴沢 泰治郎
鶴沢 寿治郎
鶴沢 和雄
豊沢 和雄
鶴沢 宏太郎
常磐津 和佐太夫
常磐津 勢寿太夫
常磐津 清若太夫
常磐津 和光太夫
三味線
常磐津 菊雄
常磐津 文字蔵
常磐津 己之吉
補導
芳村 五郎治
田中 伝左衛門
竹本 扇太夫
狂言作者
竹柴 純平
頭取
葛山 鹿之助
つけ打 土佐 伝
スタッフ
舞台監督 平島東憲
美術 碓山喬康
照明 富田修好
音響 高橋嘉一
日本演劇衣裳部
小林演劇かつらKK
東京鴨治床山KK
藤浪小道具
河内着肉店



会 月 葉

○…「どんどう大師」は、お弓を演じる加賀屋歌江さんのゆめだけあって熱意がすごい。
指導の中村梅花さんにつきつきで教わり、「ありがたいことです。なにしろ、師匠の歌右衛門も手がけておりませんし、恥づかしくないものになくては」と夏休み返上のお稽古に汗びっしょり。
「どんどう」にちなみ川崎のお大師さまにもお参りして成功を祈願するなど、ふだんは脇にある人のゆめと稽古の発表にみせる女の意地。

稽古場もしーんとなっていた。今年11才。
○…「どんどう大師」でもうひとつの楽しみは竹本の浄瑠璃・三味線、葵太夫・政一郎のコンビを得てたつぷりの声もかけたところ。ちかごろ、腕をあげている葵太夫さんの近松もの挑戦もみのがせない。ちなみに、葵太夫さんの本名は柳瀬信吾、若さと人気でいま評判の三シンゴの中に、伝統カブキからは非加わってもらいたい位の、人気である。

○…「供奴」でさつそうの登場は、坂東みの虫さん。坂東流家元、三津五郎師の秘蔵っ子である。今回も、じきじきの特別けいこで汗を流した。ふだんは、立廻りや、町の若い者などの脇役から、大劇場で「供奴」を踊りぬくところに、葉月会ならではの異色企画。
三津五郎師の歌舞伎名義助さんの一字をいただき、みの虫。かつて、特別警戒の都内で警官に名前を問われ「みの虫」と答えて「ふざけるな」とおこられた、笑いはながある。好青年で、実力上昇中。

姫御寮には、雀右衛門門下の中村京之助さん、八月一日には「桜梅会」の勉強会で「水仙丹前」を踊り、いきなところをみせるなど、若手女形で躍進中である。
○…葉月会ならではの演目は「団子売」と「京鹿子娘道成寺」。「団子売」は、国立劇場養成所出身の太夫・三味線がひな段に並ぶ。連名にしたがってご紹介すると、浄瑠璃の泉太夫（四期生）初太夫（三期生）谷太夫（五期生）幹太夫（六期生）、三味線の鶴沢寿治郎（三期生）鶴沢泰治郎（四期生）豊沢和雄（五期生）鶴沢太郎（六期生）と、伝統芸養成の成果も年ごとにみられるものになってきた。

談話室

○…軽妙な芝居はこびを演じる妙林・妙珍の二人の尼さんには、市川左升・実川延寿の二人、スリムな美しい尼さんと軽妙な妙珍、笑いの中にお弓の悲しい宿命がうきあがってくる構成は、さすがに近松門左衛門の原作である。ペテラン女形のやりとりをお楽しみに。
○…沢村宗十郎門下の宗丸君をご紹介します。巡礼おつるの悲しい風情は、毎度のこと客席のじわがくる。
有名なセリフの稽古をききながら、ささやきの声「いまのヤングにきかせたいね」……「たどえいつまでかかって、たづねようと思っけれど……」のくだりには

○…国立劇場の養成所でいま勉強中の七人の研修生が、幕あきの参詣人に出演。試演会では「車引」までできる研修生だが、こうした世話ものはじめてで、セリフや動きのむづかしさにびっくり。茶店の娘に出演の中村京之助さんの女形にあらためて感心していた。「どんどう大師」は大阪にあり、せめて大阪らしく幕をあげようと、関西弁も特訓、国立劇場の養成課が、わが子の初舞台をみるようにハラハラ？

○…「釣女」は、松本幸右衛門・幸雀さん二人の高麗屋コンビ。太郎冠者の幸右衛門さん、かたばみ座から市川中車さんの門に入り、中之助さんで親しまれた。
立役ひとすじの歴史は独特の風ほうを生み、近寄りがたく、またふしぎにおかしくて、あたたかい人である。太郎冠者は楽しみ。幸雀さんは生粋の高麗屋、先代からのお弟子さんで、その物腰のやわらかさは楽屋でも定評がある。眞女形の大名がみもの。
二人は今年、藤間宗家じきじきのけいこに「こんな機会は二度とありません」と感激していた。

○…長唄の若手が「娘道成寺」に挑戦。大もの選曲で意欲をみせた。ふだん本公演ではなかなかひな段の中央になど坐れないのはいうまでもなく、今回も鳴物のペテランに並んでいたが、道成寺のサワリを存分にご披露することでしょう。

社団法人 伝統歌舞伎保存会
〒102 千代田区隼町4-1 国立劇場内
☎(265)7411 内線286